

(1)

会 報



# 緑のまち

第12号 平成5年10月21日

発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191 東京都日野市神明1-12-1 日野市役所内  
電話 0425(85)1111 内線 265~7



関東三不動（千葉県成田山・神奈川県大山不動）の一つ高幡不動尊は、敷地3万平方メートル、西側に位置する高幡山は老若男女がいつでも登れる山です。春は、新緑をはじめ桜、ツツジ、初夏にはアジサイの名所として知られ、秋は紅に姿を変えます。境内のモミジもあでやかですが、登る途中の紅葉は目をみはり、別世界。訪れる人を楽しませてくれています。

# 平成四年度 事業報告

平成4年度は天候に恵まれた年でした。

関係者のご努力のおかげで、各事業は順調に進み、市民の方々に多くのイベントに参加していただき、誇りを感じております。

事務局一同、皆様方からのご意見を基に魅力ある事業にするよう努力いたしました。

4年度は特に次の三点を中心に推進いたしました。

- (1) 当協会に市民は何を求めているのかを知るための意識調査の実施
  - (2) 駅前及び公共施設へのプランター（花壇）の設置
  - (3) 市内各花壇の見直し等。一層の充実を目指し、力を傾注し鋭意努力してまいりました。
- ここに、その事業の一端をご報告いたします。

## 一、市民参加による緑化推進及び普及啓発事業

毎年、春（4月）秋（11月）を緑化月間と定め、多くの事

業を進めております。中でも春の苗木（源平シダレモモ他）、秋の球根（ユリ、ランキンユラス等）の無料配布は市内6ヶ所で一斉に実施し好評でした。

この期間中、山野草展、植物写真展、園芸講座、菊花コンテスト、自然観察会、親子で参加できる炭焼き教室、昆虫教室、地域緑化清掃等の催しを実施いたしました。

いずれも大盛況でした。特に、菊花コンテストは、関係者の努力が実り、出品も多く（例年の1.7倍）訪れる方々を楽しませてくれました。

その他、協会の仕事内容を知ってもらうためガイドブックの作成配布、緑の羽根募金活動、シイタケ栽培講習会等を行いました。

## 二、環境美化を基に緑化活動事業

(1) 市内には、老人会、自治会、愛好会が管理してくれているコミュニティ花壇を含め、50カ所余りの花壇があります。

これらの花壇の花の適否、植付本数等を見直し、充実をはかりました。

特に、駅前及び公共施設のプランターにはできるだけいろいろな花、珍しい花を見てもらうよう配慮いたしました。(2) 花の里親、里子運動はボラ

ンティアの方の協力で、年間560名以上の人が利用し、ますますその輪は広がり、もらったお礼にと庭で咲いた花の種をもちよつてくれています。

(3) 入学入園（学校、保育園等）記念樹は各施設の希望によりリンゴ、アンズ、ウメ等の配布をいたしました。生徒は数年後に実のなるのを楽しみにしているそうです。

その他「花とみどりの健康相談」等実施いたしました。

## 三、緑化推進に関する調査研究

設立4年目を迎え、当協会に市民がどのような関心や要望をもっているのか、アンケート調査を実施いたしました。

この結果を今後の指針づくりに役立てたいと思います。

## 四、日野市からの受託事業

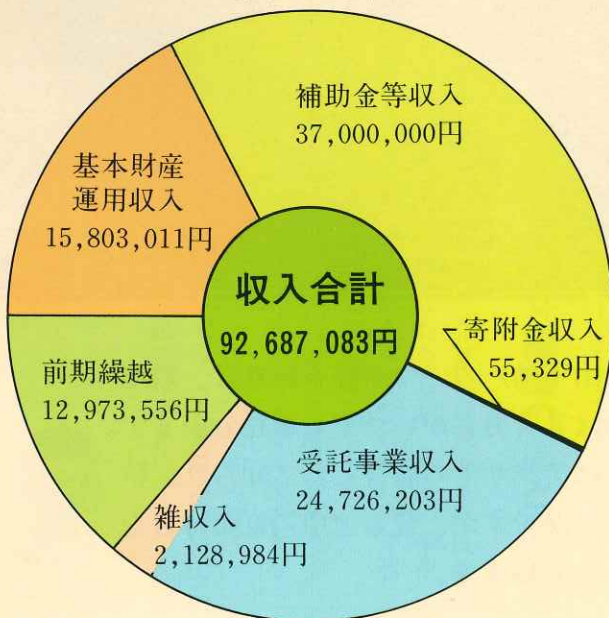
菊花事業は市の花である菊の育成、配布（市民・学校・老人会等）の委託を受け、秋には菊花コンテストを実施しております。

配布数は傘菊・ポットマム・スプレー菊を合わせ3万本をこえております。

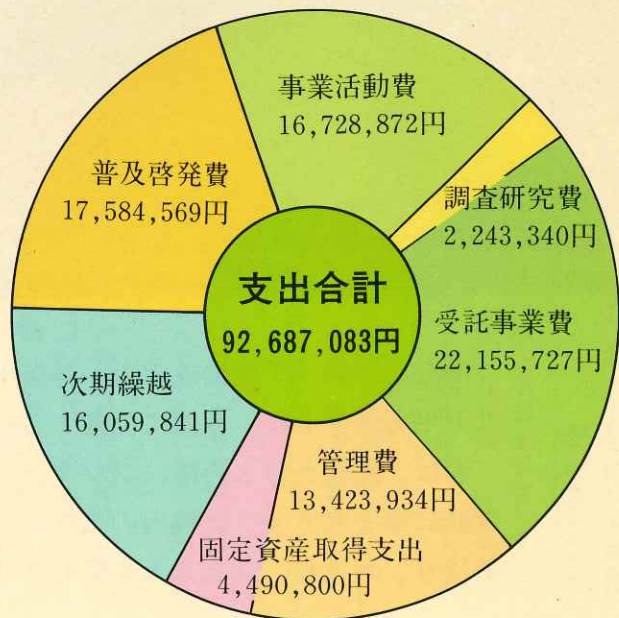
その他、公園清掃及び除草事業、花卉植付事業、グリーンベルトや花卉栽培苗圃等除草事業を実施いたしました。

# 平成四年度収支決算

## 収入の部



## 支出の部



## 緑陰を求めて (自然観察会 5月16日実施)

春先になると私は胸をわくわくさせて市の広報を待つ。自然観察会の知らせがのるからである。日野市は広いせいか、長いこと住みながら知らない所が結構ある。殊にハイキングコースとなると尚更で、それを教えてくれるのがこの催しなのだ。案内の先生方が先に立っていろいろと説明して下さるが、この年になってへえー、そうですかなんて驚く事もある。植物に対して余りに無知なのが恥ずかしい。先生方の後について行けばよいので道に迷う心配もなく、

安心した気分で見られるのがよい。一人だと道に迷いそうな深い木立ちもあって、身近にこんなにも広く美しい自然がたくさんあると思うと自分の土地でもないのに誇らしい気持ちになってしまう。吹く風も高原のようにひんやりと爽やかで心地よく、身も心もリフレッシュされた気分。

唯一、悲しかった事は、貴重な草花を残酷にもぬいて持ち去る人の話を聞いた時だ。日野の美しい自然よ、いつまでも、と祈りたい。

多摩平・遠山 梅子



風に誘われて

## 春の緑化月間行事に参加して

### カトレアに挑戦 (園芸講座 5月7日実施)

今般、カトレアの園芸講座を受講しました。春先にランの展示会を見て、何かを栽培したいと思っていた矢先でしたのでこの講座に応募しました。主催者側より配られた小冊子を基本とした、講師和泉吉隆先生の講義を出席者一同熱心に聞き、又、質問もしました。この講習により、プランの基礎知識、カトレアの植付栽培(生育温度・光線・空

中湿度・灌水・通風・施肥・病虫害防除等)管理、置き場所(春夏秋冬別々)等、一応の要領を伝授され、次に実務としての植え替えを実習しながら、その必要材料(素焼鉢・水ごけ・支柱等)の説明、使用方法、植え替えの手順等指導を受けました。

又、植え替え後の管理として、二週間位は半日陰に置き、水やりは控えめに肥料は与え

ない。時々葉水を与えること等こまかい注意もありました。この植え替え作業をすぐに実習できるように、各出席者に鉢植え物一組と資材一揃を費用にて準備して下さいました。帰宅後、早速、鉢に植えようと張り切って講座から散開しました。植え替えたカトレアは新芽を出し、目下、夏期置き場所選定考慮中です。

旭が丘・尾上 勝次

## たのしい菊づくり

私は毎年八月になると、ポットマムとスプレー菊の苗の配布される日を楽しみに待ちます。

その日が近づくと、素焼きの五号鉢の底の穴に防虫網を敷き、落ち葉かゴロ土を少し入れて用意しておきます。

苗を頂いて帰ったらすぐ、頂いた土に腐葉土を少し入れよく混ぜ合わせます。そして苗を植えると、根が呼吸しやすいよう土はふんわりと押えます。ジョウロでたっぷり水をやって最初の作業終了。

翌朝は夜が明けるのを待

ちかねて水やり。菊の成長を楽しみむあけくれの始まりです。

ピンチ(摘芯)はとても注意して行います。つまようじで苗の先端のまだ開いてない葉だけ、あやまってほかの葉を落したりすることのないよう気を付けながらかき取ります。

B ナイン散布もすませ、やがてつぼみができるとポットマムの摘蕾(つぼみ取り)です。

それぞれの枝の先のつぼみひとつだけ残し、あとは指で押し落します。すっかり落したと思っても翌朝見るとまたいくつも見付かったりします。

つぼみは目に見えて大きくなつていきます。やがてポットマムもスプレー菊もそれぞれ美しい花を付けてくれます。

丹精込めて育てた菊が秋、美しい花を咲かせてくれるのを見る時、たとえようもない幸福感に包まれます。菊づくりは私の楽しい年中行事です。

小久保 節子



# ご参加下さい!

## ~12月8日

### くらしに花とうるおいを!

主催 日野市 (財)日野市環境緑化協会

秋本番、11月は「緑化月間」です。青空の下、市民参加による緑化推進を目指して、多くのイベントを行います。今回は球根(カサブランカ)の無料配布をはじめ、菊花展、親子炭焼き教室、園芸講習会など楽しい催しをたくさん用意いたしました。多くの方のご参加をお待ちしております。

#### 家庭緑化の日(11月3日)

日野中央公園ほか市内6ヶ所で球根の無料配布を行います。また、日野中央公園内では園芸相談や肥料・腐葉土・花木等の即売会も行います。

#### ●球根の無料配布

小学生以上の方にユリ(カサブランカ)、スイセン、フリジアの球根セットを先着順に配布します。

▽配布日時 11月3日(祝)午前10時から各会場で。午後1時から日野中央公園のみ。

▽会場・配布数 日野中央公園(午前千袋、午後700袋) 東京南農業協同組合七生支店(午前のみ500袋)

(以下午前のみ200袋) 旭が丘中央公園・平山地区センター

市民の森スポーツ公園・第八小学校前・東部会館横仮称万願寺第八公園

#### ●園芸相談

毎月実施している「花とみどりの健康相談」を当日、日野中央公園で行います。園芸でお悩みの方はぜひご相談を。

▽時間 午前10時~午後3時

#### ●即売会(日野中央公園)

庭木・鉢鉢ほか 日野市花卉生産組合

肥料・園芸用土ほか 東京南農業協同組合

市史・植物ガイドブック 市政図書室



#### ●苗木の無料配布

家庭緑化の推進を図るため、苗木を無料で配布します。

▽時間 午前10時30分から先着500人(1世帯1本)

▽会場 緑化センター(日野中央公園南側)

▽苗木 ヒメリンゴ、サツキ、ツツジなど

※高さ2メートルまでの苗木 ※以上雨天実施

## 市制30周年記念 菊花展

今年市制30周年を記念して、日野市菊友会と共催で行います。例年にも増して見ごたえのある展示会を開催いたしますので、ぜひ、ご観賞ください。

#### ●配布苗菊花コンテスト

8月に市民の皆さんに配布したポットマム・スプレー菊のコンテストです。参加賞には球根を用意してあります。ふるってご参加ください。

▽期間 10月30日(土)~11月7日(日)

▽会場 市役所前市民プラザ

▽部門 市民一般(個人) 小学校(団体) 老人クラブ(団体)

▽表彰式 11月6日(土)午後2時より、市民プラザにて。詳しくは開催要領をご覧ください。



#### ●菊友会菊花展

同会場にて盆養、だるま、補助、切花等の展示

▽期間 11月1日(月)~(切花は2日)~11月7日(日)

#### ●古典菊、大菊の展示

中菊の肥後菊・嵯峨菊・江戸菊など100鉢を展示します。

▽期間 11月1日(月)~30日(火) 会場 市役所1階市民ホールほか

## 自然観察会

今回は趣向をかえ、高尾にある多摩森林科学園まで足をのばしてみます。広大な敷地内には珍しい外国産の木もたくさんあり、紅葉も楽しめます。

▽実施日 10月24日(日) 問合せ先 (財)日野市環境緑化協会(☎市役所内線265)へ

## 花とみどりの健康相談

協会では、毎月一回、みどりに関する相談日を設け、専門家が皆様の質問にお答えしております。12月から3月までは、電話で受け付け、後日、専門家がお答えします。ぜひ、ご利用下さい。

電話 85-1111(内線265)

# 秋の緑化月間行事に

## 期間 = 平成5年11月1日

## テーマ: まちに緑と清流を!



カサブランカを配布

### 生け垣講習会

最近、生け垣を作る方が多くなりました。生け垣は気品があり、誰もが望みますが手がかりです。しかし、良く手入れされた生け垣はいつ見ても気持ちのよいものです。専門家が実技指導を行いながら解説しますので、生け垣を新設したい方、興味のある方はぜひご参加ください。



- ▽日時 11月19日(金)午前10時～11時45分
- ▽会場 緑化センター
- ▽講師 日野緑進会会員
- ▽定員 先着30人
- ▽申込み 電話で公園緑政課(公)市役所内線361へ
- ※日野中央公園南側の都市緑化見本園には、16種類の生け垣が仕立ててありますので、参考にして下さい。

### 親子炭焼き教室

毎年、大勢の方に参加をいただいておりますこの教室も、今年で5年目を迎えました。炭は燃料以外に、水の浄化、脱臭、土質改善等、いろいろ効用があり見直されてまいりました。アルミホイルと割りばしを使って簡単に炭を作る方法から、炭焼窯での本格的な焼き方まで、先生がわかりやすく説明いたします。



- 当日は落葉たき(焼きいも)も行いますので、親子で参加して、昔の暮しをしのんでください。
- ▽日時 11月21日(日)午前10時～正午(雨天中止)
- ▽会場 南平丘陵公園
- ▽講師 杉浦銀治氏
- ▽申込み 電話で(財)日野市環境緑化協会(公)市役所内線265)先着50組

### みどりの写真展

恒例になりました写真展も年々、評判が高まり、市民の方も楽しみにしております。市内にも風光明媚な所がたくさんあります。写真は無言の語りです。あなたの力作をお寄せ下さい。

▽テーマ 「日野の植物―うつり行く秋―」

▽展示期間 11月16日(火)～12月3日(金)(土・日祭日を除く)

▽会場 市役所1階市民ホール

### 地域緑化・清掃の日

人が集まる場所は汚れやすく、常にきれいにしたいもの、公園、広場、歩道等、公共の場を皆さんの手できれいにしてみませんか。

- 落葉の舞うこの季節、市内全域で一斉清掃を行いますので、ご協力をお願いします。
- ▽日時 11月28日(日)午前9時～正午
- 当日は自治会、老人会、子供会等の指示に従って下さい。参加賞の球根(1世帯1袋)は家庭緑化にお役立て下さい。

### 園芸講習会

#### (正月の寄せ植え)

正月にかかせない松竹梅、自分で鉢に植え込めば、愛着もまた格別。じょうずに管理すれば、年を追うごとにりっぱな盆栽に成長します。

今年度は2会場で開催しますので希望の会場を忘れずに記入して下さい。



- ▽日時・会場 12月8日(水)、中央公民館(午前10時～正午)
- 日野社会教育センター(午後2時～4時)
- ▽講師 武井完雄氏
- ▽定員 各会場50名(申込み多数の場合は抽選)
- ▽費用 材料費千円
- ▽申込み 11月15日(必着)往復ハガキに希望会場明記のうえ(財)日野市環境緑化協会(〒191日野市神明1の12の1)へ

### 自然を守れ！立木トラスト

日野市立三沢台小学校

池田 織江

うちでは、無農薬の野菜を五年ほど前から食べています。お母さんはとてもおいしいと言っています。子供の頃、食べていた味がするそうです。

その野菜は千葉県の三芳村という所で作られています。そこから農家の人が直接運んでくれるのです。

その三芳村で六年前に、ゴルフ場建設の話が持ち上りました。ゴルフ場ができる、いろいろな害が起きます。それは、除草剤（ゴルフ場の雑草をからす薬）土地改良剤などの農薬が田畑や川に流れこんで、野菜・米などが汚染されたり、川の魚が死んだりするからです。また、ゴルフ場を作るために、山をくずしたり森林をなくしたり、川の流れを変えたり道を作ったりして環境を破かいます。

そうなるは大変と思った村の人たちはゴルフ場建設反対の運動を始めました。その運動の一つに「立木トラスト」がありました。

前にお母さんが『私を切らないで！』と書いた札をさげた木の絵を描いていたことが

ありました。「それなに」と聞いたら、立木トラストの話をしてくださいました。立木トラストというのは、ゴルフ場建設予定地の木、一本、一本、をだれかに買ってもらい、その木の持ち主になってもらうのです。もし木が二千本あれば、二千人の持ち主ができます。その二千人がOKしてくれないとゴルフ場は作れません。それを聞いて私はそんなことよく考えたなあと思いました。これを考えた人は頭がいいなと私は感じました。

うちのお母さんもその木を一本買いました。他の木も全部、持ち主が決まりました。この運動が決めた手になってゴルフ場計画は今年の五月に中止になったそうです。「よかったー」お母さんはとても喜んでいました。緑を守るためにこういう運動がいろいろな所で起きています。

### 私達のまわりの緑

日野市立日野第五小学校

市川 梨奈

緑は、私達の出すきたない空気（二酸化炭素）をすって、きれいな空気をかえしてくれまます。酸素だけではなく、豊かな川の流れをつくる。

ブナ林などの植物も、私達人間や生き物たちにとって、



かかせないとても大切なものだと思っていました。

私は、あまり自然や緑の事を、それほど、すばらしい！とは思っていません。テレビなど、大自然のすばらしさとかを知っていたとしても、私自身は、あまり感じていなかったのかもしれない。でも、今は以上に、自然の大切さが身にしみているのです。いつだったか、私は友達とメダカをとるつもりで出かけていったことがありました。川の土手の方の岩かげに、メダカらしきものが、うじゃうじゃいたので、私達は大喜びでバシバシと、とりにかかりました。その時はだれも気づかなかつたけれど、実はその魚は、オイカワの稚魚たちでした。

私は友達といっしょに夢中でとっていたけれど、ふと、その池のようになってい

の間をのぞいてみて、あっとびっくりしました。

そういえば、さつきからさわっているけれど、川の水はすき通っていてきれいだし、水の中には美しい水草がワァーと広がっていたのでした。水面で、キラキラ光る日光をあびながら、くきや葉からブクブクと気体を出しています。9月だったせい、水草は、夏ほど生き生きとして見えませんでした。私はその時、目がそこからはなれませんでした。このきれいなウォーターグリーンにかまれて、この魚たちは生きていたんだなあ……と思いました。

家に帰りさつそくあの川の中を想像した水そうをつくり、毎日とてもいい気持ちしながら、大事にオイカワの稚魚を育てていました。が、稚魚たちはわずか7ヶ月半でこの世をさりました。

私はその時やはり水そうじや広さもちがうし、池とちがって、生物も入れなかつたし、自然じゃなくちゃいけなかつたんだなあと思えました。緑、自然は水中でも生き物達の成長を支えていたのです。

その自然を大切に、開発の進む中、私達一人一人の力で守っていききたい！と思えました。

## 私達から

## の提案

小学校6年生を対象に、緑の作文を募集したところ、589編が集まりました。この中より10編を選んでいただき、今回その内5編を紹介いたします。子供心は純粹で優しく敏感です。そこには夢があります。ご愛読いただければ大人も「ハッ」とすることがたくさんあります。この作文のとりにとめにあたり、ご協力をいただいた先生方、又選考委員の方々には厚くお礼申し上げます。（残り5編は次回に掲載）

## 日野市の環境緑化について

日野市立日野第六小学校

村上 仁一

日野市は、僕の母の育ったところですが、母の話では、昔は多摩平団地はなく、豊田駅の東北の台地は森林となっていて、わずかに、教会と幼稚園があるばかりで、近くには狸も住んでいたということでした。

ところが、多摩平団地ができてからは、一気に住宅が増えて、畑は、わずかとなり、木といえど公園にあるものと、個人の家の庭にあるものだけになりました。

このような変化を見ると、緑について何も考えないでいると、気付かないうちに、日野市から、緑がなくなるということがあるかもしれません。ところで、日野市には、住宅があるところと、多摩動物公園のように周囲に木々の緑が残っているところと、神明町のように田んぼの緑が残っているところとがあります。

住宅地に緑をふやすことについては、生け垣を作る家庭に、市がお金を出して助けることが考えられます。

山を開発から守ることにについては、市街化調整区域とい

うのを決めた法律があつて、そこには住宅が建てられないようになっていようです。

田んぼの緑を守ることは、米の自由化の問題で難しくなつてきているようですが、ぜひ、日本の美しい風景でもある田んぼの緑を守りたいと思います。

なお、最近僕の庭に降った雨の酸性度を計ってみたら、pH 4.6・5で、酸性雨ではありませんでした。しかし、空気がよごれると酸性雨になるので、緑を守るためには、これからも空気をきれいにしていきたいと思います。

## 私の町の緑

日野市立日野第八小学校

今村 友美

私の住んでいる日野市は、まだ自然が多く残っていると思います。

私は学校まで二十分ぐらい浅川の土手を歩いて行きます。春には、タンポポやレンゲソウ、また校庭には桜が咲き、他の季節も色とりどりの花、植物が咲きみだれています。

## 自然とのふれあい

日野市立仲田小学校

須山 英司

七月二十九日、ぼくはニムオロ（根室）の自然教室へ北海道の自然を体験しに行きました。北海道には林がたくさんありますが、広葉樹はほとんどなく針葉樹ばかりの林しかありませんでした。針葉樹のほうが寒さに強いからだと教わりましたがもう一つ、北海道にはなぜか海岸に高山植物が生えています。それは日本があたたかくなつたとき、寒さに適した植物が山の高い



家族で春のゴールデンウィークの時、七生丘陵を通過して多摩動物公園まで歩いていきました。いつも歩いている道を少し入っただけに、そこはまるで高尾山の山に行っているかのように感じました。それに庭だけではなく、小さな林がたくさん町中にありました。東京は町の中に自然があるけど、いなかの北海道では自然の中に町がありました。

このような貴重な自然が、最近では湿原に道路を通したりしてこわされていると聞きました。ぼくは北海道でシマフクロウを見ました。シマフクロウは最近数が減っているのですが、巣箱をかけてやるとそれをシマフクロウがつかうようになったそうです。しかし、育ったひなも、大きくなると自分のなわばりを持ってなくなつていきます。ぼくはシマフクロウが減らないよう、自分が出発するところから努力したいと思っています。

たみたいに、木がうつそうとしげり、鳥のさえずりが聞こえ、木々のにおいもしました。そこの中に入っていると、日の光もやわらぎ、とても気持ちよかったです。

私は、いつもこんな場所に住めたらいいな、それにこんな身近な所にも自然は残っているんだなあと思いました。

しかし、最近、家の回りでは、私が引越してきたときと比べると、畑や田んぼだったところが、住宅や駐車場になったりしています。また、第二せきど橋をつくるために田んぼや、くり林などがなくなつてきています。例えば、私が一年生だった時の帰り道、お花などをたくさんつんで帰ることがありました。でも、今は違います。たくさんお花が咲いていたのに、そこを住宅にしてしまいました。

人間が便利に生活できるようにすることも大事だと思いますが、その反面、自然がなくなるというのは、残念なことです。

これから日野市も住む人が増えたりすると思いますが、その中で自然を守ることだとは、とても大事なことだと思います。私達も、身近な所で自然を守るよう努力していきたいです。

# やと公園

さつき会 (平山3丁目)

会長 渡辺 勝衛氏

会員22名、平成3年より公園清掃をしております。始める動機は、周辺の老人会の話聞き、実施後謝礼金がいただけとのこと、毎月皆で協力しあい、楽しく取り組んでおります。清掃をして驚いたことは、犬の糞、空カン、空ビンの放置、また、遊びの後始末の悪いことです。どの公園も共通の悩みかもしれません、公衆道徳の低下はみるにしのびなく、涵養が望まれます。



## 地域の手で

## 地域の公園は

### さいかちせき

### 橋北公園

滝合木の実会

会長 金子 一氏

自分達の健康保持のため、ボランティア活動として公園清掃を始めて15年以上になります。他にも浅川の空カン拾い等も率先して行っています。11月は落葉が多いため、又、クリーンセンターに迷惑をかけないように、焼きイモをして、その灰は公園内の木の根元にまいています。

会員は55名おりますが、常時12〜13名が出て楽しく清掃しております。



## 「緑の羽根」募金結果のお知らせ

バブル経済が終り厳しい状況の中で、今年も例年どおり緑の羽根募金運動(4月1日から5月31日まで)が実施されました。(市と共催)

戻り、緑化事業に役立てられます。

|           |           |
|-----------|-----------|
| ▽募金総額     | 233万7千33円 |
| ▽内訳       |           |
| 自治会       | 87万5千284円 |
| 老人クラブ     | 18万6千482円 |
| 市立小・中学校   | 12万3千831円 |
| 私立幼稚園・保育園 | 5万1千164円  |
| 団体・事業所    | 59万4千171円 |
| 街頭募金      | 35万8千585円 |
| 市役所機関     | 14万7千516円 |

学校、事業所等の皆様には、一方ならぬご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

おかげさまで例年を上回る成果をあげることができました。

早速東京都に送付し、この内6割が還元金として、市に

## 花のつむぎ

(K氏寄稿)

最近、草花は私達の生活とは切り離すことができないうものになりました。3千年前、古代ツタンカーメンが埋葬された墓に矢車草があったのも植物を愛する人の心意気か。西欧人は大変花好きで、窓辺や軒にたくさんの鉢花を置き、町の美観に一役かっています。

私達日本人は西欧人以上に花好きです。緑化協会は市内50数ヶ所の花壇を管理し、四季を通して10数種類の花を丹精込めて咲かせ、道行く人々の視線を誘い楽しませていきます。早春は蝶が舞い、野山は緑映え、歩道や公園の花は春夏秋冬、それぞれの美しさと人々に安らぎを与えてくれます。しかし、昨日まできれいに咲いていた花が、翌朝には無残にも根元から切り取られたり、抜き取られたり、又持ち去られて、大きな穴がたくさん残っていたりします。経済的に生活実感の伴わない社会のためか、心の愁傷のためか、私達には理解できない行為です。

多くの市民の皆さんに愛されている花をどうか切ったり、抜き取ったりしないで下さい。みんなで大切にしましょう。

## アンケート調査結果

### まとまる!

昨年(平成4年度)実施した「日野市の緑」に関するアンケート調査結果がまとまりました。

日野市は他市に比べて緑の多いこと、協会の事業もまだまだ啓蒙普及をしなければならぬこと、また、市民の皆さんは自分なりに緑を作り、楽しんでいらっしゃる等がわかりました。

この調査結果概要をご希望の方は、12月1日以降、協会事務局、多摩平支所、七生支所におきますので、ご利用ください。

## ▽編集のあとに△

今夏は日照不足と低温にたたられ、花壇の草花は大きくなれずに秋を迎えてしまいました。

月間行事は澄みわたった秋空の下で実施できることを祈っております。ぜひ、ご家族お揃いでお出掛け下さい。

